

聴覚障害LGBT 知って

生まれつき耳が不自由な映像監督今村彩子さん(38)(名古屋市緑区)が、聴覚障害のある性的少数者(LGBT)の生き方などを伝えるDVD「11歳の君へ」いろいろな力たちの好きく」を完成させた。今村さんは「子どもたちにもう、難聴のLGBTがいることや、多様な性のあり方があることを知ってもらえれば」と話している。(倉橋章)

今村さんDVD制作

聴覚障害者のLGBTの現状を訴えるDVDを制作した今村さん



5人に取材 生い立ち、仕事、家族語る

今村さんは愛知教育大学在籍中、アメリカに留学して映像制作を学び、20歳から制作を始めた。これまで聴覚障害者の普段の生活や、東日本大震災で被災したろう、聴覚障害の高齢者ら取材した映画など27本の作品を制作している。DVD制作のきっかけは一昨年11月頃。手話通訳として活動する知人男性から同性愛者であると告白され、「彼から聴覚障害者の中にもLGBTで悩む人が多くいることを知った」という。

昨年2月から制作を開始。聴覚障害を持ち、性別への違和感から女性から男性になった人や同性愛者ら5人にインタビューし、それぞれの生い立ちや仕事、家族などについて語ってもらった。このうち手話講師の菊川れんさん(43)(東京都東村山市)は小さい頃から男性という自分の性に違和感があり、24歳の時、留

学した米国での体験から、女性として生きる決意をしたという。菊川さんは「聴覚障害者の中にも、性で悩んでいる人がいることを知ってもらうきっかけになればと思い、取材に応じた。自分らしく生きることが大事だ」と話す。また、DVDにはLGB

Tの基礎知識や性の多様性などを、手話で学ぶ映像も盛り込んだ。今年1月には文部科学省から教材の選定作品に選ばれ、今村さんは「聴覚障害の児童生徒や学校の教師などを対象に、教育現場で性教育の教材として活用してほしい」と語る。DVDは20日に発売し、1枚3800円(税込み)。3月2日までは、先行予約価格の3500円(同)で販売。問い合わせはスタジオ・アヤ(studio_aya_office@yahoo.co.jp)。